

羽黒地区

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」のひとりである梶原景時ゆかりの地である羽黒を盛り上げようと地域の飲食店の協力で「グルメガイド」が出来上りました。



犬山北地区

キヤスター・ヨシヅヤ内に「まちかどピアノ」が設置されました。皆さんも是非ピアノを弾きに来てくださいね！」



発見！

わが町コレクション

楽田地区

楽田地区の『弘法さま』は、弘法大師（空海）の命日にちなんで、地域ぐるみでお供え物をして、参拝者におもてなしをします。



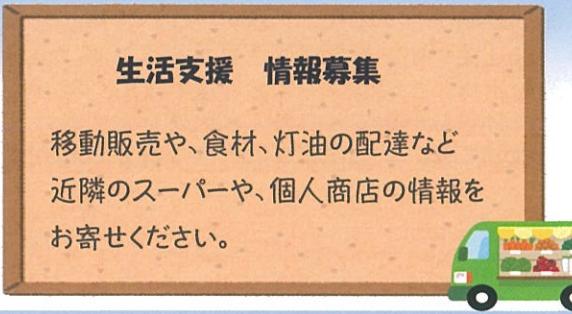
城東地区

「スズサイコのはな」は、27年位前に発見された、日本古来の野草です。夜に咲き、朝にはしほんでしまう目立たない花です。



つどいの場 情報募集

趣味のサークルや、体操教室など
2,3人のグループ活動でもOK
つどいの場の情報をお聞かせください。



生活支援 情報募集

移動販売や、食材、灯油の配達など
近隣のスーパー、個人商店の情報を
お寄せください。



発行事務局

発行者： 犬山市生活支援コーディネーター（犬山市委託事業）
住 所： 犬山市字若宮68番地4
電 話： 090-6585-6088
メール： kawamura03@road.ocn.ne.jp

ホームページもご覧ください



犬山市生活支援コーディネーター だより

手と手とてとてと



vol.3
2022.夏

- 名経大学生×つつじヶ丘団地
- なぜいま【ささえあい】が必要なのか
- 市内のつどいの場
- 古今東西 きょうぎたい
- 発見！わが町コレクション
- 情報募集



名古屋経済大学 学生さん × つつじヶ丘



樂田地区の協議体メンバーで
名古屋経済大学の地域連携センターに訪問したことが
きっかけで、コラボレーションが実現しました！

SDGsサークルで活動しています。
地球環境のことを考えて参加しました。
地域の方々と交流することに
やりがいと楽しさを感じました！



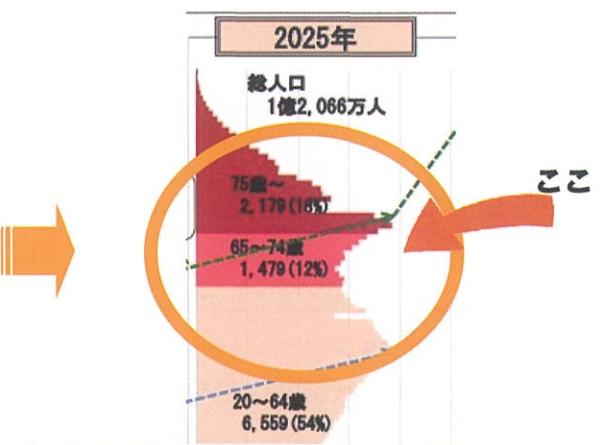
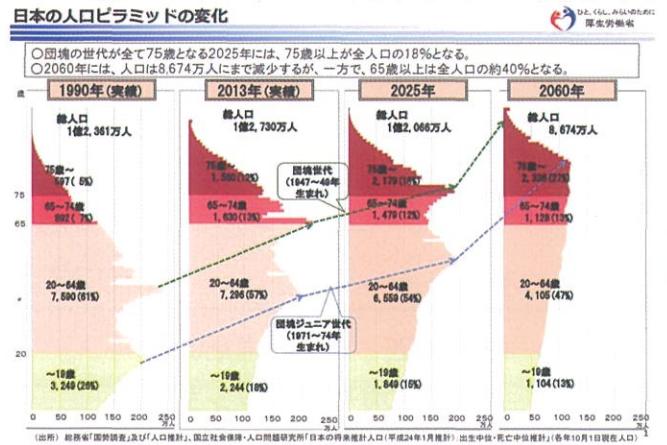
樂田地区：つつじヶ丘団地で、竹林伐採作業が行われました。

団地内の有志のメンバーも高齢化が進むなか、今回は名古屋経済大学の学生さん3人が
バンブーキーパーの活動に参加されました！

SDGsの志を持った若い力の活躍に、団地の方々もエネルギーをいただいた様子です。
力を合わせての作業がキラキラして見えました。

犬山市生活支援体制整備事業では、高齢になり、ひとり暮らしになってしまっても、認知症や介護が必要になっても
『住み慣れた自宅・地域で』暮らし続けられる地域づくり（地域包括ケアシステム）を進めています！

なぜいま【さえあい】が必要なのか？ No3



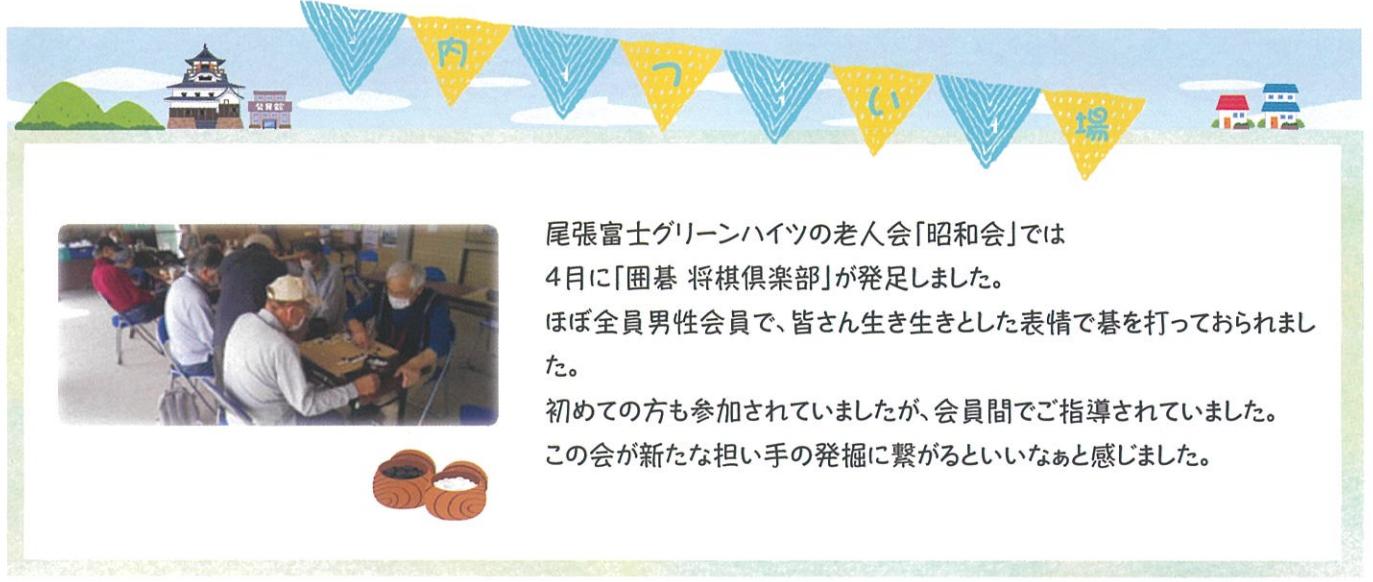
少子高齢化が進み高齢者が増えることは、もう誰でも知っていますよね。

でも、ただ増えるわけではないんです。

2025年になると現在に比べ、75歳～の高齢者（上右図赤色の部分）が増え、65歳～の高齢者（薄赤色の部分）は“減る”んです。

地域活動（自治会、サロン等）の多くを担って下さっているのは、こうした元気な高齢者の方々です。

近い将来を見越して、性別、年齢、地域や所属している組織にとらわれず、あらゆる人々が、自分たちができる範囲で支え合いの活動を広げていくことが大切です。



『今井いきいきサロン』

すでに籠網がスタートして5年になろうかというところです。

今では今井地区のみならず、「誰でも編みたい人は来たらいい」との先生の言葉に、小牧からでも来られる方もあるとか。

皆さん熱心で、本も何冊か購入され、いろ違いで作ってみたり、よりクラフトテープを細く裂いたりして細かい網目をこさえておられます。

先生は「皆さんの上達ぶりに、もう何も教えることがない」と言われるほど。しかし、やっぱり先生の貴禄は違います。いざというときには、大いに指導してもらえ頼もしい限りとサロンの方の弁。

手は動かしつつ、おしゃべりしながら作品づくりに励んでおられます。

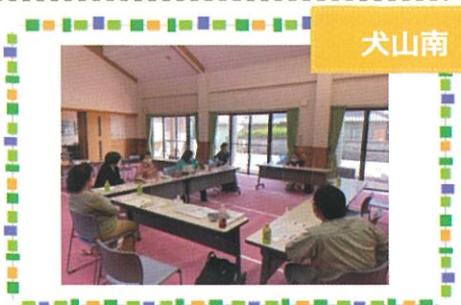


古今東西 きょうぎたい



犬山市内 各地の協議体での話題や取り組みの状況をお伝えします！
『新鮮な地域情報が集まり、あたらしいアイデアが生まれる』
“協議体”

今日は協議体の皆さんと、犬山市協働プラザに行き、施設見学と事業内容の説明をして頂きました。
これから犬山市を支えていく人材の発掘や人・物・企業を繋げていく大切さを学べました。
笑いも多く、ほんわかした雰囲気の協議体でした。
次回は内田の防災公園を見学する予定です。



犬山南地区の協議体（全員集合）を行いました。
今年は多世代交流をするために「フリーマーケットができたら」という案が出ましたので、皆さんの協力をいただきながら、開催に向けて調整していくらと思います。マジックも披露していただきますので、お楽しみに！



城東の協議体で栗栖の「竹林ロード」散策に行ってまいりました。
グリーンのジャンバーを着ている三輪さんという方の案内で、どうして「竹林ロード」を作ることにしたのかを、木曽川のせせらぎと鶯の鳴き声をバックに説明いただきました。
2度の大洪水で何もかも流されながらも、地元の仲間以外にも、周りの協力者に呼びかけ整備していくという苦労話を、日焼けしたしわの刻まれたお顔で話してくださいました。



民生委員さんの訪問調査が始まり、コロナ禍で閉じこもりの生活が長引き、高齢者の心身状態に変化が起きている事に気づかれたようです。調査で訪問すると皆さんが思い思いの話をされるので、訪問時間が長くなり、お話の内容から高齢者の外出の機会が減り「行き場がない」と実感されたそうです。地域サロンが徐々に再開し始め、どのサロンにお邪魔しても「待ってました！」とばかりに皆さんのが集まって来られ大変喜んで楽しまれています。「地域で繋がりを作る事は大切な事」と改めて感じました。



「いぬやま地域つながるシンポジウム」で大学の地域連携として、地域活動をより活性化していくためには、参加の機会など「つながりのチャンネル」を増やすことが重要とYouTube配信で見ました。
協議体メンバーで名古屋経済大学の地域連携センターにお邪魔し、楽田地区の地域課題と大学の社会貢献活動がどのようにマッチングするのか意見交換を行いました。
大学と地域が、小さなことからつながる事を望んでいます

各地区的協議体に参加してみませんか？
地元の話題や、地域の困りごと解決のためのアイデア出しなど、気軽に話し合える雰囲気です！
開催日時などは、お気軽にお問い合わせください。